

# 令和2年度 知事を囲んでの意見交換会

今年度は「新型コロナウイルス、自然災害の影響」をテーマとして、山形県旅館ホテル生活衛生同業組合、企業組合かほくイタリア野菜研究会、株式会社渡會本店から活動事例発表があったのち、吉村美栄子山形県知事から所感がありました。

なお、例年意見交換会の終了後に開催しておりました『会員の集い懇親会』は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は中止といたしました。



吉村 美栄子 県知事



菊地 規泰 本会副会長

## 活動事例発表(発言要旨)



佐藤 信幸 理事長

### 山形県旅館ホテル生活衛生同業組合 発表者:佐藤 信幸 理事長

#### 組織概要

所 在	山形市松波三丁目2-12
代 表 者	理事長 佐藤 信幸 株式会社旅館古窯
組合員数	319名

## 《発表内容》

### 1. 5月までの状況と組合の取組み

2月末に安倍総理が休校要請を発表してから、予約キャンセルの連絡が止まらなくなった。

3月に国と県の支援策について説明会を開催し、関係機関より協力をいただいて組合員へ融資制度や雇用調整助成金などの説明をした。

4月に入ると県内でも感染者が増加し、そして緊急事態宣言が発令された頃には予約は入らず、全てキャンセルとなった。各地区の組合との協議の結果、感染拡大防止のため営業の自粛をした。银山温泉・かみのやま温泉など温泉地全体での休業は初めてのことである。

5月には旅館・ホテル業のガイドラインが策定されたので、説明会を実践形式で開催した。